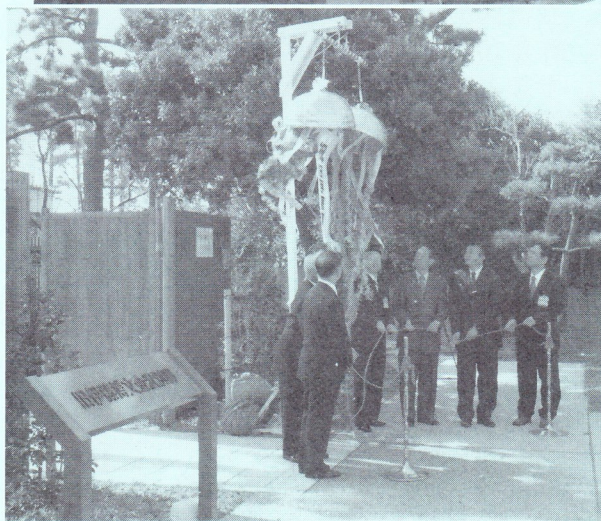


# 旧伊藤博文公別邸 文化財として復元



維持、保全のための内外の清掃を毎年計り、午前は清掃、午後は催しを開催、庭園では野点によるお茶会が開かれ、金沢区長を始め多くの方々が参加され、在りし日の博文公に思いを馳せていました。

平成18年には、文化財としての復元と、区の花である永島亀巢翁の牡丹園の移設復元を共々計り、市民や区民に開放すべく陳情を為し、紆余曲折を乗り越えて双方が記念日までに完成の運びとなりました。式典には環境創造局長を始め、金沢区長、緑の協会長、更には関係者100余名の参加を得て、盛大に挙行され、博文公が好まれた煎茶でのお茶会とお琴の演奏が開かれ好評でした。博文公別邸とその庭園は、野島の一角にあり、今後の運営については地元の皆様や今までの関係団体共々協働での成果により、又、海辺歴史公園として、横浜市の新名所として期待されています。

NPO法人  
横浜金沢文化協会会報

し  
お  
さ  
い

NPO法人  
横浜金沢文化協会

編集人 野中 建吾  
☎ 781-5044

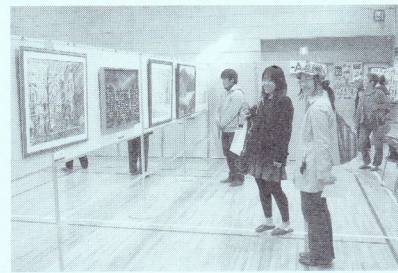
発行人 後藤 政也  
印刷 幸栄印刷(株)  
☎ 716-3366

- ▼ご案内
- \* シーサイドライン野島駅下車 徒歩5分
  - \* 毎月第一・第三月曜日休館
  - \* 開館時間 9時30分～16時30分
  - \* 入館・入園料 無料
- ▼伊藤博文公について
- 天保12年、山口県で林十蔵の長男として生れる  
父が伊藤家の養子となり伊藤姓となる  
安政元年、松下村塾に入り吉田松蔭に学ぶ  
安政4年、松蔭に学ぶ  
文久3年、イギリスに密留学する  
明治4年、岩倉具視の使節団に随行欧米各地を歴訪する  
明治18年、初代内閣総理大臣となる  
明治20年、憲法起草を開始する  
明治22年、大日本帝国憲法發布される  
明治31年、野島に金沢別邸を建築する  
明治38年、初代韓国総監となる  
明治42年、ハルビン駅にて暗殺される





# 第2回金沢区美術展



金沢区美術協会では、昨年引き続き金沢区民を対象に、絵を「見る楽しみ・描く楽しみ・発表する喜び」をコンセプトに作品を公募し、昨年11月19日(木)～

23日(月)の5日間、能見台地区センターにて、金沢区役所・横浜金沢文化協会・能見台地区センターの後援を得て「第2回金沢区美術展」を開催しました。出品作品は、油彩・水彩・水墨・彫刻等138点で、来場者は1,500人にもものぼり、成功裡に終えることができました。なお、本展は、「能見台地域作品展」と同時開催でした。

また、金沢区美術協会は、昨年10月27日(火)、参加者28人で、恩賜箱根公園への日帰り写生会を行っております。



## 第17回 金沢歌謡祭

午前9時、開場前すでに10数名の皆様が庭で発声練習。「今年も！」という意気込みで猛練習。千葉、埼玉、富士山の麓などから参加。大会準備のお手伝いもして下さり、スムーズに開場。発表の部、大会の部、75歳、65歳、一般と分かれて開演。成績上位者はグランプリ部門で再び歌えるという特典があり、実力十分発揮。感動の一日。ゲストの中村幸子先生の『お吉』に感動。(敬称略)



審査員	審査員長	*一般	*シニア	*スーパージニア	*グランプリ
岸本美津子先生	清水均先生	1位 竹内美智子	1位 長塚美智代	1位 山口里子	1位 長塚美智代
	花井絹代	2位 高田あき	2位 赤羽敏子	2位 原修平	2位 竹内美智子
		3位 根本弘子	3位 表義信	3位 三木濱江	3位 三木濱江

## 新春絵画小品展



金沢区美術協会は、平成22年新春を飾る絵画小品展を、本年1月17日(日)～23日(土)の7日間と1月24日(日)～30日(土)の7日間の2部に分けて、金沢区役所内区民活動センター展示室で、金沢区役所及び横浜金沢文化協会の後援を得て、開催しました。同展では、油彩・水彩・箱根写生会での作品など48点が展示されました。

## 第23回 金沢区書道協会展

第23回「金沢区書道協会展」(共催NPO法人横浜金沢文化協会は、2月10日～16日磯子区民文化センター・ギャラリーで開催されました。

一年かけての力作は、58点。一步入ると、墨と花の香りで華やいだ雰囲気。古典をふまえた重厚な漢字、みやびの世界へ誘う流麗なかな文字、そして時代にあつた近代詩文、また絵入りの作品など見る人を楽しませてくれる多彩な展覧会で、オリンピック開催と重なりましたが、会場は連日、大勢の参観者でにぎわいました。

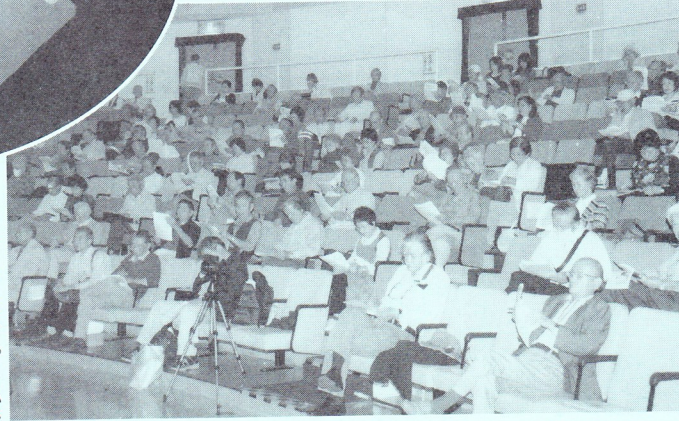
筆記用具の多様化、筆を持つ生活からコンピューターの時代になっても、筆文字は書いた人の心がそのまま伝わります。見る側も書く側も、日本の伝統文化のなかで、大きな位置をしめる書道にひと時、思いを馳せていただければと思います。





# 歴史講演会 伊藤博文公と金沢別邸

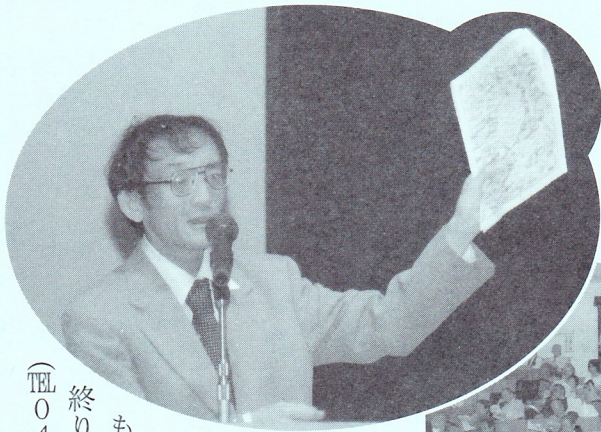
横浜開港150周年記念行事として「伊藤博文公と金沢別邸」と題し、平成21年11月1日に盛本昌宏先生を金沢公会堂にお迎えして金沢の歴史講演会を開催しました。この年は奇しくも博文公没後百年、そして野島の金沢別邸が復元された年でもあります。そういうこともあり、講演会には276名の参加者がありました。



伊藤博文はわが国初代の内閣総理大臣で、天保12年(一八四二)生、明治42年(一九〇九)没。長州藩出身で、吉田松蔭の松下村塾に学び、文久3年(二八六三)に青年博文は海外勉学のためイギリスに留学し、大いに見聞を広めました。

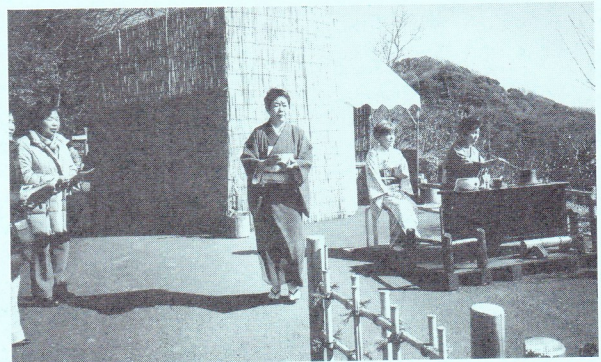
明治15年(一八八二)に諸外国の憲法調査のため、博文公等はヨーロッパへ行く。東屋で憲法草案の入った鞆が泥棒に盗まれた話は有名ですが、「碑文」及び「松本家」資料で紹介されています。以後、当時は孤島であった夏島別荘で仕上げたため「夏島憲法」とも呼ばれています。

野島の金沢別邸は明治31年頃に建てられ、完成以前にも訪れた楽しい様子が奥様宛の手紙から読み取れます。2時間に及ぶ講演会は興味深い内容が多く、もっとご紹介したいのですが紙面の都合で終りますので、「講演資料」ご希望の方は白井(TEL 045178118665)までお申し付け下さい。



# 梅見茶会

〜金沢自然公園にて〜



平成22年2月6日(土)、金沢茶道会は、金沢自然公園主催の野点に協力しました。青空のもと立春を迎え、梅の出番です。寒い冬を乗り切り、流石に別名「花の兄」です。桃山時代は花見といえば梅だったそうです。梅をめでながら茶の心も改めて感じました。5回目を迎えましたが、年々充実して参り、道沿いに職員手作りの竹花入れを裾えて、園内に咲き誇る花々を活けて下さり、早くから家族連れ、友達と、小・中学生達が見え、自然木の長椅子に緋毛氈を敷いた野点席にご案内。立礼の香を楽しむ味わって居られました。立礼の位置は素晴らしい趣きで調え、テントの水屋口には、これも素敵な園製作の目かくしの衝立を設置。245名の方に呈茶をして、職員の方々のお陰でスムーズに終える事が出来ました。

# 和楽器体験講習 〜小学校音楽教師対象〜

平成21年8月27日、市立八景小学校音楽室において、和楽器体験講習が行なわれました。金沢三曲会有志が箏・三絃・尺八を用意して、区内小学校音楽教師に体験してもらいました。約25名の中には経験者もおり、さすがに先生方、すらすらと弾きこなしてしまいます。最後に伴奏をつけて、コーラス隊も参加し、「荒城の月」を合奏。大拍手の中、終了しました。







# 横浜金沢を詠う

## 平成21年度前期 俳句・短歌表彰式

「横浜金沢俳句・短歌ボスト実行委員会主催  
「俳句短歌ボスト制度」の第2回(平成21年度前半期)  
表彰式が昨年10月30日、金沢区民活動センター  
にて行われました。金沢区外からの投稿作品も  
多く、金沢区紹介の一役を確実に果たしつつあ  
ると思います。  
次に被表彰作品を紹介します。

### 【俳句の部】

\*横浜金沢区長賞  
(天位) 風蝕の鼻欠地蔵秋暑し

(地位) 金沢区谷津町 松村彌榮子  
轉に目を細めたるコアラかな

(地位) 金沢区金沢谷西 鏡 保太郎

(人位) あかね差す夕日がきれいな金沢区  
横須賀市野比 (平妻) 松本 悠真

\*横浜金沢俳句・短歌ボスト実行委員長賞  
(天位) 丹の橋を越えて花舞ふ阿字ヶ池

(地位) 南区中里 外山 生子

(地位) 八景島春潮さらり岸たたく  
金沢区長浜 柳原 米一

(人位) のじまやまみどりにそまりせみの声  
金沢区町屋町 (平妻) 西岡 彩乃

\*NPO法人横浜金沢文化協会理事長賞  
(天位) 風薫るのはな館のテラスかな

(地位) 栄区本郷台 秋元 孝之

(地位) 稱名寺青葉がぐれに赤い橋  
金沢区金沢谷東 寺井 一郎

(人位) 散り懸かる万朶の桜浜空碑  
金沢区富岡西 大川 一馬

\*横浜金沢観光協会賞  
(天位) 木漏れ日の浜風涼し玉堂邸

(地位) 川崎市宮前区宮前平 栗生 晴夫

(地位) 紫陽花の彩にふくらむ八景島  
金沢区能見台 惣野 圭子

(人位) 浄土への朱の反橋や秋津舞ふ  
宇都宮市桜 大場みよし

\*NPO法人横浜金澤シテイガイド協会理事長賞  
(天位) 鶯の輪や浄土庭園あやめ咲く

(地位) 川崎市中原区中丸子 原 萬里子

(地位) 野島より見し平瀉の秋の海  
金沢区寺前 神谷 キク

(人位) 花芭蕉声出して読む直木の碑  
松戸市常盤平 菊地 佳子

### 【短歌の部】

\*横浜金沢区長賞  
(天位) 鎌倉へ塩を運びし道ゆえに

(地位) こぼれて白しとわが白山道  
金沢区金沢谷南 光岡コト子

(地位) 八景島初夏の海風心地良く  
開港記念の茶会開かる

(地位) 金沢区朝比奈 津田美奈子

(人位) 老鶯の声の極まる玉堂邸  
木洩れ陽の道そぞろ歩めり

\*横浜金沢俳句・短歌ボスト実行委員長賞  
(天位) 濃く淡くみどり彩なす金沢谷の

(地位) 木洩れ陽の道栗鼠の飛び交ひ  
金沢区金沢谷西 富田 佳瑞

(地位) 瀬戸神社君が代の声おごそかに  
礼儀正しき奉納演武

(地位) 戸塚区戸塚町 佐藤美和子

(人位) おもしろいシーパラダイス  
いきたないいつもいきたい

(地位) はっけいじまに  
水戸市八幡町 (平妻) 小野寺快都

\*NPO法人横浜金沢文化協会理事長賞  
(天位) お施餓鬼の読経ひびかふ金沢谷の

(地位) み寺に父母を偲ぶ夏の日  
金沢区金沢谷東 秦 正子

(地位) 五百個の行灯に火は灯されて  
広重徳ぶ瀬戸の秋月

(地位) 金沢区六浦 石川 武

(人位) 早咲きのコスモスの花風にゆれ  
秋を先取る金沢の丘

(地位) 磯子区磯子 木下 瑞子

\*横浜金沢観光協会賞  
(天位) 紫陽花のシーパラダイス小棘雨

(地位) 傘を傾け笑顔の会釈  
横須賀市鷹取 阿部 文彦

(地位) みどり濃き金沢の園にて育くまれ  
やさしきまなこの動物の多し

(地位) 藤沢市辻堂元町 赤松 光子

\*NPO法人横浜金澤シテイガイド協会理事長賞  
(天位) 褐色の榛の木に群れる小鳥らの

(地位) ふらここのごとく風に揺れをり  
金沢区金沢谷西 大江 良子

(地位) シスターの「夕べの祈り」の  
イメージや燃える落日

(地位) 柴ファームにて  
金沢区西柴 内藤 和子

## 文芸部活動報告

### \*金沢区民俳句(吟行)大会結果\*

金沢俳句会では、昨年10月25日、金沢動物園にて  
吟行後、「のはな館」に、27人の俳句愛好者を集め  
て、第10回金沢区民俳句(吟行)大会を開催しました。  
次に上位の作品を紹介します。

軽やかな厚の走りや楹紅葉 太田 修  
秋霖の奥に身を寄すサイ親子 惣野 圭子  
三ッ股にコアラ安眠秋時雨 深沢 勝美  
秋小寒崖に一頭座してをり 鈴木 勇夫  
霧降の山気を払ふ象の鼻 井出 佳子  
柵越えに麒麟の背伸び秋思かな 北野 一清  
雨払ふ象の耳たぶ秋小寒 田中 徳明  
秋時雨知らぬコアラの口動く 滝沢いみ子  
秋霖やくるりと動くサイの耳 藤森 志津  
ユーカーリの木の幹白し秋深し 大川 一馬

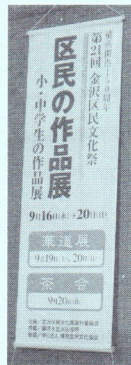
### \*金沢区民短歌大会結果\*

金沢区民歌人会では、昨年11月1日、八景コミユ  
ニテイハウスに、36人の短歌愛好者を集めて、金沢  
区民短歌(秋季)大会を開催しました。  
次に上位の方の作品を紹介します。

双掌にて包みし妻の小さき手は夜明けを 木村 靖一  
待たず徐々に冷えゆく 吉川 恭子  
七十歳以上は無料と通されて 秦 正子  
『こどもの国』に童女となりぬ  
胃の中に木の葉ひとつもなかりしと



# 第21回 金沢区民文化祭



◎区民の作品展及び小・中学生の作品展



9月16日(水)から20日(日)の間、金沢地区センター体育館で開催されました。区民から広く募集した絵画・写真・書・文芸作品(俳句・短歌)・手工芸・陶芸品の力作が一堂に揃いました。例年より出品数は若干少なかったが、それを補っても余りあるごとく、特別企画として同時開催した「区内小・中学生の作品展」(絵画及び手工芸品等)が、会場に大きく花を添えました。従って、見物人は例年より多く、特に小・中学生の作品を鑑賞するために、家族・親戚・友人等が大勢来場し、ついでに区民の作品をも熱心に見物している様子が目立ちました。

### ◎華道展

金沢華道会による華道展が9月19日(土)と20日(日)の両日、金沢地区センター2階会議室にて開かれました。会場は、出瓶者と花の心が一つに表現されたホットな空間です。僅か2日間でしたが、それぞれの活け方で花々を美しく観ていた多く、拝見して下さる皆様にとって楽しい時間であって欲しいと思います。



### ◎秋季茶会

金沢茶道会は、9月20日(日)、金沢地区センター2階、和室表千家席、ロビー裏千家席を設け、両席共、開港150周年をテーマに思いを込めた席作りとして、お客様をお迎えして日本文化の茶道にふれていただきました。



### ◎金沢区音楽のつどい

10月18日(日)、金沢公会堂にて、区内で活動している25団体が出演し、日頃の練習の成果を発表。フィナーレでは、聴衆と一緒に金沢の歌「かなざわの四季」を合唱して楽しいひと時を過ごしました。

### ◎吟と舞の祭典

10月24日(土)、金沢公会堂にて、金沢区民文化祭・チャリティー大会として開催されました。金沢区吟剣詩舞道連盟傘下の12の吟剣詩舞の会から約30名の出演がありました。「金沢八景詩」の吟詠に始まり、歌謡吟詠コンクール・剣舞・詩舞・構成番組「源平盛衰記」まで順調にプログラムを終えることが出来ました。なお、チャリティー募金は金沢区社会福祉協議会に贈りました。



### ◎金沢三曲演奏会

11月3日(水)、金沢公会堂にて開催されました。演奏会では、皆さんご存知のやさしい曲をはじめ、古典から現代曲に至るまでの様々なジャンルの曲が、箏・三絃・尺八で演奏されました。日本伝統音楽の楽しさ、床しさを身近に感じ親しんでいただけたと思います。

### 金沢三曲演奏会



### ◎金沢日本舞踊連盟 公演

12月6日(日)、金沢公会堂にて開催された金沢日本舞踊連盟の公演も14回目を迎えました。12月を楽しみに来て下さる地域の方々が増え、定期公演の成果があることが嬉しいです。華やかな伝統芸能を見て頂く機会を大切に、今後も多くの方々のご来場を期待しております。



### ◎金沢区小・中学校 音楽祭

12月13日(日)、開演時間前というのに、金沢公会堂の外では既に、生徒たちが熱心に打合せをしていました。午前9時、開館を待って実行委員・各校の生徒・横浜金沢文化協会の応援メンバーが続々と集まってきました。皆、今日の緑の下の力持ちです。4トン車2台により楽器も運ばれ、区内33校の中から8団体が日頃の鍛錬を華々しく披露していききました。可愛い小学生は大きなフラッグを掲げ、楽器を操って大人を唸らせていたし、大きなお兄さんお姉さん達は高いレベルの演奏にソロが加わり、小学生の心を掴んでいました。



## 旧川合玉堂別邸で 琴の演奏とシャンソンの集い

旧川合玉堂別邸は「旧川合玉堂別邸及び園庭緑地運営委員会」によって維持管理され、毎月第1土曜日に一般公開されています。

その中でイベントとして3月に文化協会員の「琴アンサンブル金沢桐韻会」による琴と尺八の「琴のしらべ」演奏会を、また、10月3日地元のシャンソン歌手による「シャンソンの集い」が開催され、両イベントとも入場者数が、一般公開の約3倍で、演奏も素晴らしく聴衆を魅了し、大盛況のもと終了することができました。

3月の「琴のしらべ」では、琴と尺八の演奏で、曲目は、「赤い靴」「うみ」「青い目の人形」「早春賦」「ふるさと」ほかで、琴と尺八による演奏と琴のみ及び尺八の独奏であり、日本古来の楽器演奏の妙味に浸ることができました。

10月の「シャンソンの集い」は歌手が富岡西在住で、小雨模様にもかかわらず、地元の方々が早くから来場し、シャンソンの発表会を思わせる光景で、曲目は「ばら色の人生」「恋心」「サントワ・マミー」「ろくでなし」「ラストダンスは私と」等で歌手は玉堂邸の画室縁側に出て、観客と握手を交わしながら熱唱され、ステージと観客が浑然一体となった熱の籠った演奏会でした。





# 第8回 クリスマス・チャリティーコンサート

年末の恒例行事となりました「かなすいのクリスマス・チャリティー・コンサート」が8回目を迎えました。会場の皆様からのご寄付いただいたチャリティーも、8年間で総額がおよそ80万円に達しようとしております。これらのご寄付は、金沢区内の障害者の皆様の自立支援活動にお役立ていただいておりますが、アマチュア吹奏楽団のチャリティー活動に対しまして、こうした息の長い温かい皆様のご支援を頂戴し、金沢吹奏楽団団員一同大変感謝いたしております。

さて、毎年のクリスマスシーズンに開催しているコンサートには、横浜金沢文化協会の国際交流事業として、金沢区内に在住されている世界各国の皆様も、金沢国際交流ラウンジを通じてご招待させて頂いております。音楽を樂しむ心は世界共通のもので、コンサートにお出かけいただいたすべてのお客様に、アットホームで素敵なクリスマスの一と時をお過ごしただけなものと思えます。

さて、「かなすい」も来年、創立50周年を迎えようとしておりますが、創立当初からの団員数は延べで500名を超えております。これまで長い間活動を続けることができましたのも、ひとえに多くの区民の皆様からの温かいご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。今年(祝)には第40回の定期演奏会を神奈川県立音楽堂にて開催いたしますので、皆様お誘いあわせの上ぜひご来場いただき、引き続きのご声援を賜りますようお願い申し上げます。



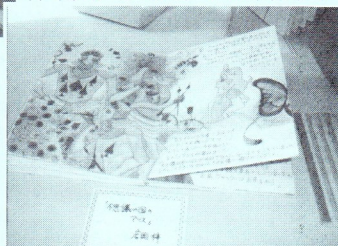
## 絵本講座 オリジナルの絵本を作ろう

西柴中学校の3年生を対象とした総合学習で『オリジナル絵本講座』を昨年も担当致しました。総合学習とは、授業の一環として、3年生全員が複数の講座の中から各自の好む講座を選び、夏休みを除く6月からの3ヶ月間に10回、地域の講師による講座を受講するシステムです。絵本作りは初めての生徒たちが、絵本作りの第1歩から始めて、最終回には参加者全員が、型の違う大小2冊の絵本を、製本までして仕上げました。作品は各講座作品と共に、中学文化祭で披露されました。作品作者のその時々の苦労や



喜びなど、いっぱい詰まっています。この絵本たちが中学生生活の1ページとなってほしいと思います。

(児童文化部)



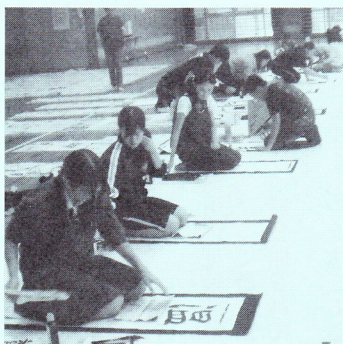
## 金沢フォトクラブ第14回写真展

21年11月4日～9日



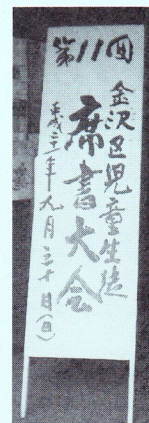
昨年11月4日～9日まで「杉田劇場ギャラリー」において、14回目の写真展を開催致しました。今回のテーマは「水・水辺」でテーマ作品24点・自由作品は各々の視点で撮った自信作を約40点余、総点数は65点余りでした。NPO法人横浜金沢文化協会の後援を得まして、無事終了致すことが出来ました。

尚、今年も11月に横浜市民ギャラリーにおいて「金沢フォトクラブ第15回写真展」を予定して居ります。講師・写真家の小川正彦先生のご指導のもと、男性16名、女性8名(計24名)で月3回和気あいあいの雰囲気を楽しんでおります。



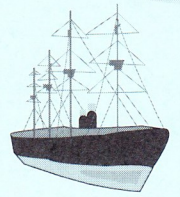
金沢区書道協会主催の第11回金沢区児童生徒席書大会(共催)NPO法人横浜金沢文化協会・後援(金沢区役所)は、昨年9月27日(日)、金沢地区センター体育館で開催されました。「みんな、楽しく書きましよう」を合い言葉に、参加する小・中学生60人、多くの保護者が見守る中、それぞれ学年毎の課題に取り組み、作品を仕上げてゆきました。出来上がった順番に張り出されて学年毎に先生方の講評があり、それは、これからの作品に生かされてゆくことでしょう。

イベントの大字書きは、一畳ほどの大きな紙に大きな筆で一字を書くことで、一人ひとりが自分の好きな文字を、樂しげに、のびやかに腕を振っていました。終わりに、自分の作品を受けとり、参加の記念品を贈られて会場を後にいたしました。





# 「アンカレッジ記念碑」の設置



2月3日、横浜・八景島シーパラダイス客船ターミナル地区に、米

ペリー艦隊停泊（アンカレッジ）記念碑が設置され、式典及び除幕式が行われました。同式典には、外務省代表、アメリカ大使館代表、横浜市長をはじめ100余人の方々が参列し、盛大に挙行されました。

ペリーは、江戸湾を測量した結果、金沢・小柴沖に、旗艦サスケハナ号他4隻の艦隊を停泊させることにし、この海域(場所)を、「アンカレッジ」と名付けたのです。

なお、横浜金沢文化協会の理事長以下も招待され、小型フェリーによる湾内巡航にも参加しました。

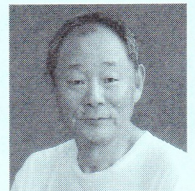


## 親と子の「能」の魅力体験講座

金沢区は鎌倉に近く、風光明媚な所の為か、能の題材が多く、代表的な物に「六浦」と「放下僧」があります。歴史と自然に恵まれた金沢区で8年前、金沢区役所、NPO法人横浜金沢文化協会、ふみくらの仲間たちにより区内の子供達に金沢区ゆかりの能や古典芸能を伝えていけたらと始まったのが、親子の「能」の魅力体験講座です。講座には称名寺新能演者のシテ方金春流、櫻間右陣先生が能についての話や謡、仕舞の体験を、又、能装束、能面、狂言など講師を招き勉強しています。8回目の今年は、金春國和先生による太鼓の話、体験では子供達の長い列ができる程でした。また、受講生の中から有志を募り、称名寺新能での連吟に出演する事が出来たり、月2回の六浦セミナーに通い、中には櫻間先生の元で子方として本舞台を踏んだ子供もいます。今年も5月1日「称名寺新能」で大勢の子供達が大きな声で連吟「放下僧」を披露してくれると思います。是非皆さん足をお運び下さい。



## 個人会員紹介



絵画部 川浪 舎人  
芽吹いた瞬間から茎や芽が成長し、花が咲きやがて葉が落ち、種実が落ちていく植物の一生を季節になぞらえ、私の見た春夏秋冬を色鉛筆で描いております。草むらや道端に、一心不乱に生育している姿、「カラスノエンドウ」・「ツユクサ」・「ネコジャラシ」など健気で小さな命。このような好景が嬉しく、金沢の豊かな自然を身近に感じながら、「そつと語りたく・そつと触れたく」をテーマに昨年は、秋の七草の成長過程を4コマに描き終えました。植物に感動をいただき、描きつづけておられます。植物を通じて何かお役に立てれば幸いです

## 顧問紹介



湘南学院理事 鈴木 節夫  
教師生活38年。うち18年を六浦中学校に勤務。その間、子どもから学び保護者や地域の皆さんに多大なるご支援を頂いたことに改めて感謝をしています。私にとって六浦中学校は「心のふる里」です。

その後は横浜市教育委員、横浜市教育相談員を務め、現在は法務省人権擁護委員、フレンドリースペース金沢（不登校の子どもの支援）などで活動をしています。



歴史部 福井 優博  
野島の社宅から夏山に移り30年、化学企業で研究開発一筋でした。定年

になって地域の事が知りたくて受講した歴史講座で、塚田師匠(理事)に出会ったのが縁で、地域のいろいろな方々を紹介して頂き、楽しく活動させて頂いています。週1回通っている早稲田でも、一時子ども達の理科離れが問題となりました。子ども達を理科好きにと、小学校の理科クラブのサポーターなどを始めました。昨年は、地元の小学校や県青少年センターなどでノーベル化学賞の緑色蛍光蛋白質の発光実験をやリ、子ども達が目を輝かせて「なぜ、どうして!」と言ってくれた時の嬉しさ。明日の日本を担うのは子ども達、文明・文化を支えるのは科学です。文化協会に科学部会ができるのを願っています。



金沢区には全市に誇れる美しい海と山そしてすばらしい文化や文化財があります。そしてそれらを守り、後世に伝えようと努力をされている、NPO法人横浜金沢文化協会があり、大変立派な成果を上げていることを知りました。私も、これらのすばらしい文化を、ぜひ次世代を担う子ども達に伝えるために、学校との架け橋になればと思います。参加をさせていただいております。



文化協会行事予定(日程順)

Table of cultural association events with columns for date, event name, and phone number.

顧問名簿

(五十音順)

Table listing names of advisors in alphabetical order.

賛助会員名簿

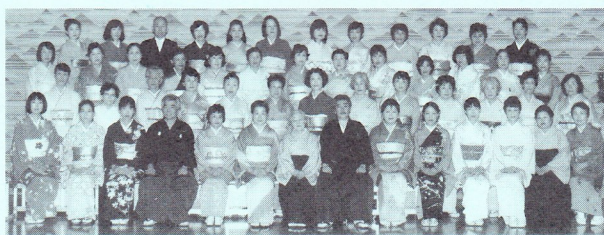
(五十音順)

Table listing names of sponsors in alphabetical order.

団体会員紹介

琴アンサンブル金沢桐韻会

お琴の合奏グループです。講習を受け、楽しんでもつと続けたいと昭和59年に結成されました。



団体会員紹介

女声合唱団ひまわり会

創立27年目を迎える女声合唱団です。月3回の土曜日の午前中を富岡ふれあいハウスで歌っております。



お詫びと訂正

「しおさい(28号)」に次の誤りがありましたのでお詫びの方訂正させていただきます。

編集後記

今期も、会員の皆様の日常における活発な文化活動等が際立ち、そのため掲載記事も多く、紙面割りに嬉しい悲鳴を上げました。

編集委員

- List of editorial committee members including 一之瀬 焔次・氏家 総子, 小櫃 健一・後藤 政也, etc.